

宇陀市立榛原地域就学前施設・こども家庭センター整備事業 説明会資料



宇陀市健康福祉部 こども未来課

宇陀市立榛原地域就学前施設・こども家庭センター整備について

1. 建設の目的

宇陀市は、第2期宇陀市子ども・子育て支援事業計画の基本理念「みんなで咲かせよう 親子の笑顔 安心して子育てできるまち 宇陀市」の実現に向けて、「子どもが心身共に健やかに成長するための支援」「子育てを支援する生活環境づくり」を充実させることを目的に、施設の老朽化が進んでいる榛原幼稚園、榛原東幼稚園、榛原北保育園を統合し、幼保連携型認定こども園*を整備します。

また、妊娠期から出産・子育て期を切れ目なく支援するため、妊娠婦・子どもの相談支援・子育て家庭の交流など、地域の子育て支援の拠点として、こども家庭センターを同施設へ設置します。

* 認定こども園…小学校就学前の子どもに教育・保育を一体的に提供する機能を持ち、幼稚園と保育園の両方の良さを併せ持つ施設

2. 既存施設の状況

榛原地域の幼稚園・保育園はいずれも築40年以上経過しており、老朽化に伴う雨漏りなど、施設管理や運用に困難が生じています。

施設名	榛原幼稚園	榛原東幼稚園	榛原北保育園
			
住所	榛原萩原 2254	榛原天満台西 2-5	榛原萩原 2078
認可定員	210名	280名	100名
敷地面積	3,816 m ²	3,282 m ²	2,772 m ²
建築面積	731 m ²	888 m ²	594 m ²
延床面積	1,036 m ²	1,268 m ²	913 m ²
開園年月	昭和53年10月	昭和55年6月	昭和55年4月

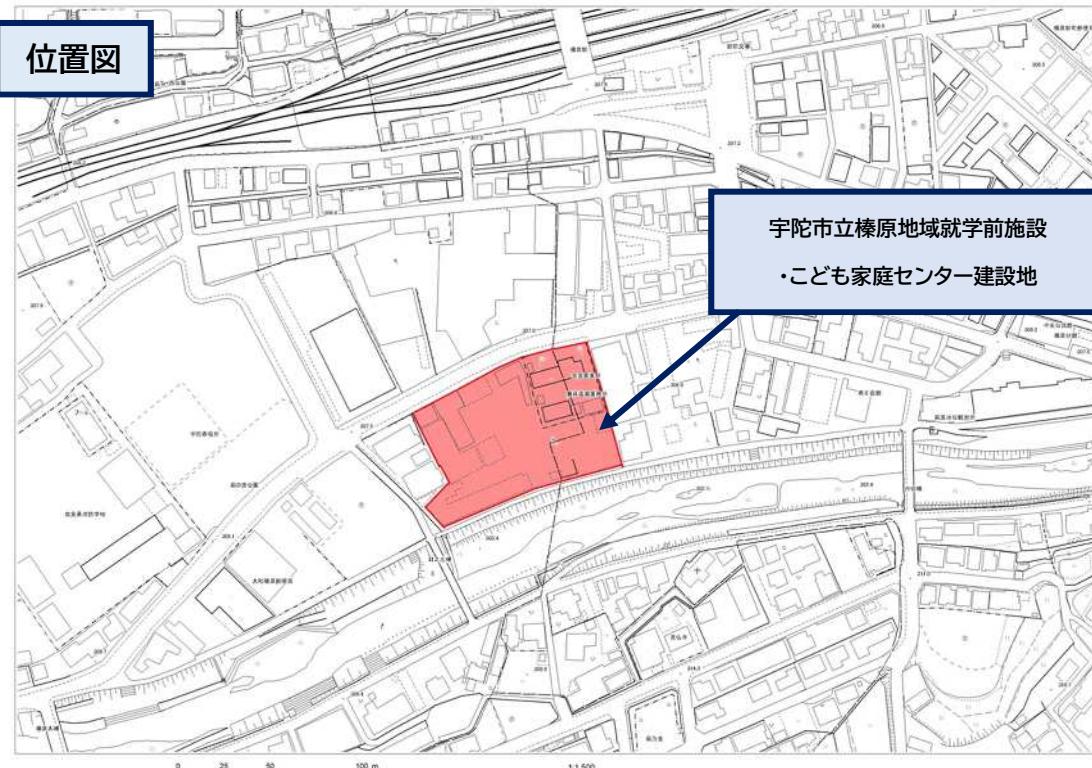
3. 建設場所の選定

建設場所は、現在未利用の旧奈良県東部農林振興事務所と、隣接する旧三洋堂書店跡地です。旧奈良県東部農林振興事務所は、宇陀市の近鉄榛原駅周辺地区における持続的発展及び活性化のために令和6年5月、「旧東部農林振興事務所の活用に関する協定書」を県と締結し、同年6月に払い下げを受けており、建設に際して解体予定です。

この土地は、宇陀川を南に配し、自然豊かな風景があり、市内各地からのアクセスが良く、現時点で医療施設や商業施設などの生活サービス施設が集約されていることから、若い世代の居住人口が多く、子育てニーズが高い地域です。県道榛原菟田野御杖線に接しており、園児の送迎時の保護者・送迎バス車両の安全な動線が確保でき、用地面積は6,810.27m²と子ども園及び子ども家庭センターの設置や運動会が開催できる園庭に必要な面積を有しています。

また、建設場所となる近鉄榛原駅周辺地区は、人口減少や経済社会情勢の変化のなか、持続可能で強靭な都市構造へ再編を図るために策定された「立地適正化計画」において、都市機能誘導区域と設定され、この計画に位置づけた誘導施設（子ども園等）の整備に対しては、国の財政支援（都市構造再編集中支援事業費補助金）が受けられます。

子育て世代や子どもたちの人の流れが生まれることで、まちの活力を向上させ、都市機能や居住環境の向上が期待されます。地区住民をはじめとする市民の利便性を高め、地域全体で子どもたちを見守り、育むことができるこの場所は、保育施設を整備する環境に適しています。



4. こども園の定員及び運営内容

こども園の定員

人口推計及び入園児童の予測推計に基づき

180人

に設定します。

開園時入所者数見込み

令和8年度	入所者数見込み
	175 人

開園5年後入所者数見込み

令和13年度	入所者数見込み
	157 人



想定クラス人数

■ 令和8年度

想定人員	
0歳児	6 人
1歳児	13 人
2歳児	14 人
3歳児	42 人
4歳児	51 人
5歳児	54 人
合計	180 人

■ 令和13年度

想定人員	
0歳児	6 人
1歳児	12 人
2歳児	12 人
3歳児	37 人
4歳児	45 人
5歳児	48 人
合計	160 人

宇陀市立榛原地域就学前施設こども家庭センター建設基本計画より

開園時間

区分	【教育認定】 満3歳以上(4月1日時点)		【保育認定】 生後7か月目～(4月1日時点)
開園日	祝祭日を除く月曜日から 金曜日		祝祭日を除く月曜日から 土曜日
教育時間	平日	8:30～14:00 (水曜日のみ13:30)	-
	土曜日	なし	
教育及び 保育時間	平日	-	7:30～18:30
	土曜日	-	7:30～16:30
長期休園日	春夏冬期休業・年末年始		年末年始

子育て支援事業の内容等

- ✧ 一時預かり事業
- ✧ 延長保育事業
- ✧ 地域子育て相談機関(子育て相談・情報提供)
- ✧ 病後児保育事業



5. こども家庭センターの運営内容

宇陀市では、全ての妊産婦・子育て世帯・子どもが気軽に相談できる相談支援機関であるとともに、子どもの健やかな成長を切れ目なく支える子ども・家庭・地域の子育て機能の総合支援拠点として、こども家庭センターを設置します。

対象者

宇陀市民で18歳未満のすべての子どもとその家庭及び妊産婦

子育て支援部門

子育て中の親子の交流促進や育児相談等、地域の子育て力の育成、子育て支援につながる活動の後押し等、すべての市民が安心して出産・子育てできる「地域づくり」を行うために、平成23年4月より開始している菟田野の『子育て支援センター すぐすぐ』が、こども家庭センターへ移設されます。



主な業務

フリースペース開放

子育て家庭を対象に、自由に遊べるようにフリースペースを開放します。

利用者支援事業

子ども又はその保護者の身近な場所で、教育・保育・保健その他の子育て支援の情報提供及び必要に応じ相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する事業

駅前託児室(新設)

保護者等の仕事や疾病、入院等により一時的に家庭での保育が困難となる場合や、リフレッシュしたいときなど、保護者の育児不安の解消を図り、負担を軽減するために児童を預かるサービスを新設します！

ファミリー・サポート・センター事業

育児の援助を受けたい人(依頼会員)と援助を行いたい人(サポート会員)との相互援助活動に関する連絡、調整を行います。

地域子育て支援拠点事業

- ✧ 親子教室(親子遊び体験、子育て情報提供)
- ✧ 子育て講座(リトミック・親子ヨガ・ベビーマッサージなど 隨時開催)
- ✧ 子育て出前講座(遊びや交流の場を提供して、子育て中の友達づくりの場・情報交換の場・親子のふれあいの場として実施します。)
- ✧ 子育てサークル支援

母子保健事業部門

妊娠婦の健康支援、乳幼児の健康診査といった母子保健事業にあわせて、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行います。中央保健センター(室生福祉保健交流センター「ぬくもりの郷」内)で実施している母子保健事業がこども家庭センターへ移行されます。



主な業務

母子保健事業

母と子どもの心身の健康を守り、次の世代を担う子どもを健全に育てるとともに、保健の向上を図るため、母と子どもに対する保健相談、乳幼児健康診査、健康調査、育児教室などを実施する事業

不妊治療・不育症治療費助成事業

宇陀市の独自の事業として、不妊や不育症に悩む夫婦を対象に、不妊治療や不育症治療費用の一部を助成する事業

妊娠届

妊娠届提出時の母子健康手帳の交付・妊娠婦健康診査受診料補助券の交付・妊娠歯科健診査票の交付・子育てプランシートの作成業務ほか

発達相談・支援

乳幼児健康診査等を通じて把握された精神発達上の問題を持つ幼児を対象に、個々の状況に応じて心理士による助言・指導のほか、障がいの早期発見と適切な療育への処遇を目的として実施

相談援助部門

- ・子ども家庭総合支援拠点
- ・要保護児童対策事業

社会福祉士や保健師など様々な専門職が相談を受け、関係機関と連携し、必要な情報提供や支援につなげていくことで心身ともに健やかな子どもの成長をサポートしています。また、養育に関する相談や児童虐待の相談にも対応します。



6. 事業スケジュール

令和8年4月の開設を目指します。

年 度	内 容
令和5年度	基本設計、解体設計
令和6年度	実施設計 解体工事・造成工事 建築工事(14か月)
令和7年度	建築工事 開設準備、備品搬入、引越
令和8年度	榛原地域就学前施設・こども家庭センター開設(令和8年4月)

7. こども園の統合に向けて

今後、榛原地域就学前施設の統合及び開園に向けて、令和6年9月より統合準備委員会を設置します。委員会は、榛原地域3園の保護者代表、園評議員、教職員、地域主任児童委員代表、行政職員により構成し、統合のための必要な事項(制服、園歌、園旗、バスルートなど主にソフト面)を協議します。



宇陀市立標準地域就学前施設等設計業務

1階平面図 (A1) 1:200

